

令和2年度上大久保中学校だより

# 上中だより

## 第5号

令和2年8月17日(月)発行

### 学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL855-3901

<http://kamiokubo-j.saitama-city.ed.jp>

### 「令和2年度第2学期始業式 式辞」

校長 堀田 明良

皆さん、おはようございます。2学期の始めに当たり式辞を述べたいと思います。1学期終業式で伝えたのですが、1学期をしっかり振り返ることはできましたか。夏休みは社会に通用する「自由な時間の使い方」はできましたか。また、今までのストレスの解消はできましたか。

2学期が始まりました。新学期のスタートです。新学期は言うまでもなく、リセット、リスタートのチャンスです。1学期や夏休みにうまく過ごせた人はもちろん、うまく過ごせなかった人も新たなスタートを切ることとなります。気持ちを新たに、目標をもって2学期を過ごしていきましょう。

夏休み中は勉強や部活動に、「暑さ」との闘いの中で努力していた人も多くいたことでしょう。サッカー日本代表チームで活躍した本田圭佑選手は「どこでプレーしても俺の成長はある。」と言っています。恵まれている環境でも、恵まれていない環境でも成長できるという、とても前向きな言葉です。恵まれた環境と恵まれていない環境には、恵まれている環境の方がいいと思いますが、どちらにも長所と短所があります。恵まれた環境とは目標達成意欲が低くなる環境ともいえます。なぜなら、成功しなくても現状のままでも良いという、心のすきが起こりやすいためです。逆に、恵まれない環境とは目標達成意欲が高くなる環境といえるでしょう。目標を達成すれば、恵まれていない環境から抜け出せるという、ハングリー精神が生じるためです。向かい風に当たり続けることにより、無駄な部分が除かれ、芯が通ってくるのでしょうか。もちろん、恵まれた環境には、目標達成を助けてくれる多くの要素があるため、怠けず行動さえできれば成功しやすい環境とも言えます。その反面、恵まれない環境は、目標達成からは遠い、大変な状況からのスタートなため、成功する前に心が折れ、挫折してしまう人もいるでしょう。しかし、どちらであろうと利点が必ず存在します。つまり、利点に着目し、環境に不満を言わずそれを受け入れ、利点を活かした行動することが、本田圭佑選手の「どこでプレーしても俺の成長はある」という名言の意味だと思います。

2学期は暑さを和らげる風が吹く季節に始まり、北風が吹く季節に終わる長い学期です。生徒の皆さん、1学期同様新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めて健康に過ごせるよう自己管理を続けましょう。そして2学期は授業に取り組むとともに、体育祭や合唱コンクールなどの行事ではクラスのまとまりの力で「旋風」を巻き起こし、日頃の生活では「風通しの良いクラス」をつくって欲しいと思います。